



北校舎



南校舎

現在のところは短大生が学んでいた時と外観はかわっていません。本館、北校舎、南校舎の名称はそのまま、大学の授業や研究、青山学院本部の事務部署に利用されています。

懐しの
Campus 探訪

2022年3月に最後の卒業生を送り出した後の短大キャンパスはどのようなになっているのでしょうか。

ジェンダー研究センター ギャラリー展示のお知らせ

「女子教育と教育標本資料
—短大家政学科被服構成研究室の
資料を中心に」

装束雛形、裁縫雛形、風俗掛図の展示
会期：10月3日(金)～11月8日(土)
ギャラリーはスクーンメーカー記念館1階
詳細はジェンダー研究センターHPで
<https://www.aoyama.ac.jp/research/research-center/smcgs/>



スクーンメーカー記念館
(旧女子短期大学図書館)



建物の銘板

図書館は閉館しましたが内部を改修し、2024年9月から「スクーンメーカー記念館(旧女子短期大学図書館)」と名称を改めて宗教センター事務室とジェンダー研究センターが入っています。

しかしながら、短大跡地はこれから先10年、30年後の青山学院の未来を考える上で有効利用が検討されているので、いつかは新しい景色に変わってしまいます。卒業生としては寂しい限りです。



青学講堂側から見た中庭



本館

今後、記念碑の移転が考えられる場合は、短大同窓会に相談の上で進めていただきたいと法人に対して申し入れを行いたいと考えております。
同窓会では、短大跡地の利用計画がわかり次第同窓生の皆さんにお知らせしてまいります。

短大が受継いだ青山学院の女子教育の源流をつくったドーラ・E・スクーンメーカーの「しなやか」さにも通じることです(詳しくは会報第49春号3ページをご覧ください)。



メモリアルベンチ

「愛」と「奉仕」を表す柔らかな曲線の表現は、女性が社会的に生きてゆく中での困難を乗り越え、倒されながらもしなやかに立ち上がる短大卒業生の生き方を表していると語られています。そして、この生き方は



記念碑

短大記念碑について
短大記念碑は、2023年11月16日に中庭と短大校舎全体が視野に入る場所に建立されました。制作者の趙慶姫元短大副学長はこの記念碑について、